

# 議案質疑

議案第42号について(歳出)

体育館の非構造部材

**Q**

の耐震事業(天井等耐震化事業)について、この事業により非構造部材の耐震工事は100%終了するのか。

**A**

教育部長 小学校の調査対象は10校あり、そのうち6校は、対策不要、残りの4校のうち1校を予算計上し、残りの3校は他の改修と合わせて実施します。

また、中学校については6校のうち4校を予算計上しています。残りの2校は建築基準法の改正を待つて実施する予定です。

※非構造部材とは?

梁、柱、床、壁などの建物の骨格となる材料以外の材料。屋根や外壁材、天井や内装材などを指す。

## 予算審査特別委員会の設置

平成25年第1回定例会第4

日目において、平成25年度各会計予算関係議案8議案を審査するため、高知尾正義委員長、越川哲副委員長とする議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、予算議案を審査することになりました。

予算審査特別委員会は、3月6日、7日及び11日の3日間開催され、市長、関係部長等から説明があり、慎重に審査されました。

(審議結果)

議案第34号(原案可決)

議案第35号(原案可決)

議案第36号(原案可決)

議案第37号(原案可決)

議案第38号(原案可決)

議案第39号(原案可決)

議案第40号(原案可決)

議案第41号(原案可決)

特別委員会質疑要約

(総務部 所管部分)

**Q** 歳入の確保は非常に厳しいと思われるが、税収をどのように上げていくのか。

**A**

効率的な徴収体制をとっておりますが、少子高齢化が進んでいる状況で、税

収を上げていくのは、抜本的対策等がないと難しいと思われま

**Q** 人事評価事業は構築されたという事だが、新年度から正式な制度として始めていくのか。

**A** 平成23年度から本格運用しております。色々な面で活用できるように取り組みたいと考えています。

**Q** 短期人間ドック助成事業の短期入院総合精密検査助成金が増額しているが、なぜか。

**A** 今年度納付書を発送する際、チラシを同封したところ反響が大きかったため増額しました。

**Q** 債権回収事業の緊急雇用で何人の雇用をするのか。

**A** 被災地で就職ができなかった方を救済する国の事業で、臨時職員1名の雇用を予定しております。

**Q** 生活保護業務に関わっている職員の中に専門職の職員はいるのか。

**A** 資格を持つているケースワーカーが4名おり、そのうち社会福祉士が1名い

ます。

**Q** 年々社会保障費が伸びている中、予防対策として、生活習慣病予防の対策はどうか。

**A** 来年度、生活習慣病予防対策として、小学生から中学生を対象とする取組みを保健師、教育委員会、学校と連携しながら取り組む予定です。

**Q** 小学校情報化教育環境整備事業について、購入方法及び今までの機器を払い下げることはしないのか。

**A** 買い取りを予定しております。また、今までの機器は、使用期間が非常に長いものもあり、売払い等には適さないということで処分を予定しております。

**Q** 不法投棄パトロール事業について、パトロールの実態はどうなっているのか。

**A** 現在2班体制で市内の不法投棄の監視、ポイ捨てごみの回収を行っています。今年度は3班体制で取り組む予定です。

**Q** 林業の荒廃が進んでいるが、市はサンブシギを守る、森林を守るという視点

から森林再生対策を計画しているのか。

**A** 財源等、市単独で森林を守っていくことは難しいので、国・県の事業を上手に利用しながら取り組んでいきたいと思っております。

**Q** 町並み景観形成事業とは、どのような事業であるか。また、どのように進めていくのか。

**A** 平成24年度より、3か年で景観計画を作成する事業であり、来年度は、今年度行った景観基礎調査に基づき、実際に計画を策定するものです。



予算審査特別委員会の審査の様子